



## 『飼料生産技術現地研修会～べこさ うめえ草つくるべし～』を開催しました

令和5年8月4日、奥羽牧場で『飼料生産技術現地研修会 ～べこさ うめえ草つくるべし～』を開催しました。

今年の研修会は、生産者も気軽に参加してもらえるように、「皆で牛のために良質な牧草を収穫しよう」の意味を込めて副題を付けています。青森県内でも広く栽培されている寒地型牧草であるチモシー栽培の技術を普及させることを目的とした研修内容としており、青森県、市町村の担当者及び生産者等43名が参加しました。

前半の講演では、北海道総合研究機構酪農試験場有田研究主幹、雪印種苗株式会社佐藤部長からチモシーを維持するためのポイントや現地事例紹介、日本草地畜産種子協会元村理事から事業等紹介がありました。

後半の現地研修では、奥羽牧場で昨年更新したチモシーほ場を使って栽培における注意点の説明、チモシー他3草種を展示している見本園を使って品種の紹介をしました。炎天下の中での現地研修会となりましたが、参加者からは「実用的で参考になった」「幅広い取り組み内容を学ぶことが出来た」といった感想がありました。また、アンケート結果から高い理解度と満足度を得ることが出来ました。今後も地域の畜産に役立つような研修会を開催していきたいと考えています。



講演



現地研修会

チモシー更新ほ場での注意点の説明



現地研修

見本園での品種紹介